

2025/9/15

東アジア資金部 ソウル室 +82-2-3782-5859

先週のマーケット動向(9月8日～9月12日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,388.5	1,393.7	1,384.5	1,388.2	▲2.8
JPY/KRW	9.3649	9.4439	9.3479	9.4141	+0.033
KOSPI	3,209.81	3,395.54	3,206.34	3,395.54	+190.42

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場はレンジ推移が継続。米雇用統計が弱含み、利下げ織り込みが進む中、週初のドル/ウォンは1,388.5でオープンも、石破首相が辞任を表明したことで円安が進行した影響からウォンも軟調となった。そのほか、仏国でも政情が不安定となり、米CPIへの警戒感が高まる中、週央にかけてドル/ウォンは1,390手前で方向感に乏しい推移が続いた。一方、李大統領が就任100日にあたり、株式譲渡課税に係る基準の引き下げ案の撤回意向を示した事で、株式市場は堅調推移。2021年6月以来の史上最高値を更新する動きに外国人投資家による資金流入も観測されウォン買いをサポートする場面が見られた。11日夜間に発表された米CPIは予想にほぼ一致。週間新規失業保険申請件数が悪化したことも、利下げを正当化するとの見方に、週末12日にドル/ウォンは小幅下落して推移。結局、ドル/ウォンは前週末比▲2.8ウォンの1,388.2ウォンでクローズした。(韓国時間15:30)

今週の見通し

今週のドル/ウォン相場はやや軟調推移を予想。9月FOMCについては利下げが確実視される状況。雇用関連指標の悪化を受けて一部では50bpの利下げ期待が台頭している。週初はFOMCに向けてレンジ推移が継続、今回会合で更新されるドットチャートやFRBの発信内容がハト派なものになれば、米金利低下圧力とともに、ドル/ウォンには下押し圧力が強まる展開か。

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1370 ~ 1400	9.20 ~ 9.50	146.5 ~ 149.5

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 15日(月) 中 8月 小売売上高
中 8月 鉱工業生産
米 9月 NY連銀製造業指数 速報値
- 16日(火) 米 8月 鉱工業生産
米 8月 小売売上高
- 17日(水) 米 8月 住宅着工件数
欧 8月 CPI 確報値
日 8月 貿易統計
米 FOMC 政策金利発表
- 18日(木) 米 9月 失業保険新規申請者数
日 7月 機械受注
- 19日(金) 日 8月 CPI

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。